

三重県内経済情勢（平成 22 年 4 月の指標から）

県内経済は、依然として厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある（生産は持ち直している。個人消費は弱い状況ながら、持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は厳しい状況が続いているが、改善の動きがみられる）。

1. 概況

（生産）

鉱工業生産指数は 2 か月連続で上昇した。【図 1】

（消費）

大型小売店販売額（既存店調整値）は前年同月を 1 年 9 か月連続で下回った。【図 2】

コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県）は 11 か月ぶりに前年同月比増となり、家電販売額（中部 8 県）は 9 か月連続で前年同月比増となった。

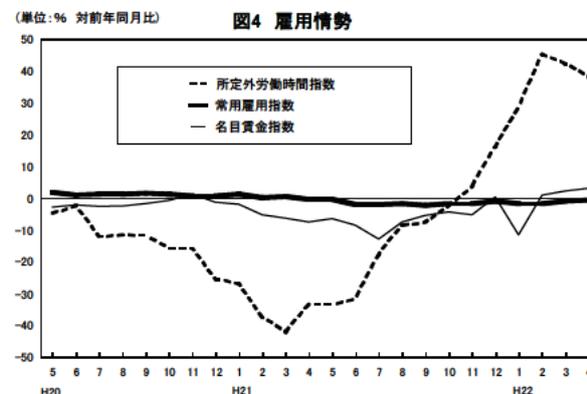
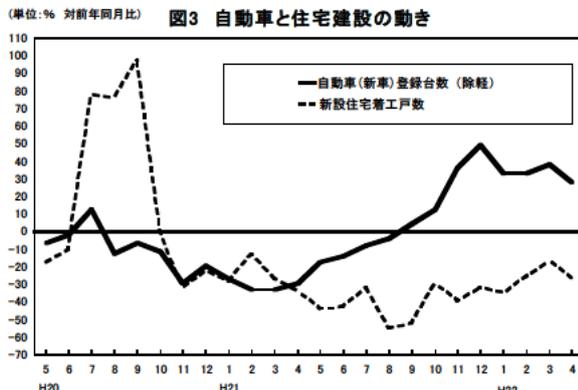
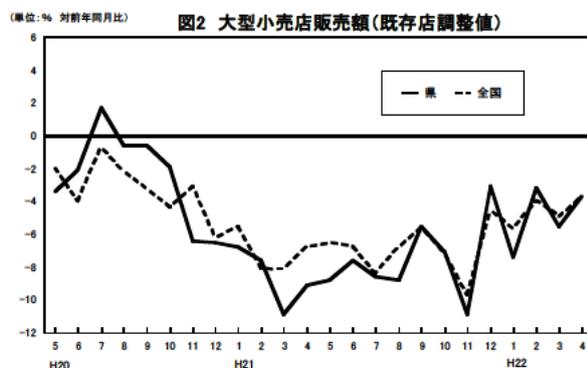
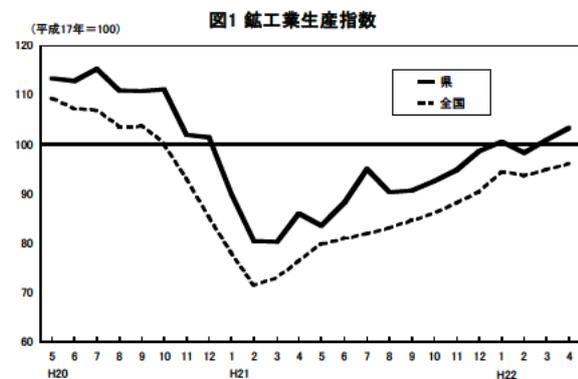
自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は 8 か月連続で前年同月比増となり【図 3】、軽自動車販売台数も 5 か月連続で前年同月比増となった。

新設住宅着工戸数は 1 年 7 か月連続で前年同月比減となった。【図 3】

（雇用）

有効求人倍率は 0.54 倍となり、前月を 0.02 ポイント上回った。

所定外労働時間指数は 6 か月連続で前年同月比増、常用雇用指数は 1 年 2 か月連続で前年同月比減、名目賃金指数は 4 か月連続で前年同月比増となった。【図 4】



2. 主要経済指標の動き

(1) 生産活動

- ・ 鉱工業生産指数（H17=100）は103.3となり、前月比2.4%増と2か月連続で上昇した。
- ・ 県内主要3業種では、電気機械工業（旧分類）（134.3）が前月比16.3%増と2か月ぶりに上昇し、化学工業（89.5）も前月比24.1%増と3か月ぶりに上昇したものの、輸送機械工業（83.4）は前月比14.2%減と3か月ぶりに低下した。
- ・ 鉱工業製品在庫指数（H17=100）は101.5で、前月比7.1%増と2か月ぶりに上昇した。
（※電気機械工業（旧分類）は、日本標準産業分類（平成14年3月改定）の「電気機械工業」「情報通信機械工業」「電子部品・デバイス工業」をまとめたものです。）

	1月	2月	3月	4月
鉱工業生産指数	1.8	-2.2	2.6	2.4
（電気機械工業：旧分類）	-2.9	0.3	-1.8	16.3
（輸送機械工業）	-2.9	2.6	8.2	-14.2
（化学工業）	4.8	-15.7	-7.1	24.1
鉱工業生産指数（全国）	4.3	-0.6	1.2	1.3
鉱工業製品在庫指数	7.8	1.0	-8.1	7.1

(2) 個人消費

- ・ 県内の大型小売店販売額（既存店調整値）は、前年同月比3.7%減と1年9か月連続で前年同月を下回った。
- ・ コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の5県）は11か月ぶりに前年同月比増となり、家電販売額（中部8県）は9か月連続で前年同月比増となった。
- ・ 自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は前年同月比28.1%増となり8か月連続で増加し、軽自動車販売台数も前年同月比6.2%増となり5か月連続で増加した。全自動車では前年同月比18.1%増と8か月連続で増加した。

（前年同月比：％）	1月	2月	3月	4月
大型小売店販売額（県内既存店）	-7.4	-3.2	-5.5	-3.7
〃（全国既存店）	-5.7	-4.0	-4.9	-3.7
コンビニエンスストア販売額（5県全店）	-3.7	-1.7	-2.1	0.1
家電販売額（8県全店）	14.8	8.5	34.4	6.2
自動車（新車）登録台数（県内）	33.2	33.2	38.5	28.1
〃（全国）	36.8	35.1	37.2	33.5
軽自動車（新車）販売台数（県内）	8.1	8.1	8.9	6.2
〃（全国）	0.7	0.6	3.7	10.8
自動車・軽自動車 合計（県内）	22.1	21.9	25.5	18.1
〃（全国）	21.5	20.4	23.5	24.1

(3) 住宅建設

- ・ 新設住宅着工戸数は841戸となり、前年同月比26.5%減と1年7か月連続で減少した。

（前年同月比：％）	1月	2月	3月	4月
新設住宅着工戸数	-34.7	-25.3	-17.0	-26.5
（参考）（持家）	10.9	-2.5	2.9	4.5
（貸家）	-66.6	-55.5	-37.6	-47.6
（分譲住宅）	61.1	-5.9	-39.0	-25.7

(4) 公共工事受注（1件500万円以上の工事：発注者別請負契約額）

- ・公共機関からの建設工事受注工事額は38億7千2百万円となり、前年同月比7.1%減と2か月ぶりに減少した。
- ・「国の機関」からの受注工事額は18億4千3百万円となり前年同月比39.2%減と3か月連続で減少したが、「地方の機関」からの受注工事額は20億2千9百万円となり前年同月比78.9%増と3か月連続で増加した。

(前年同月比：%)	1月	2月	3月	4月
受注工事総数（県内）	-26.9	-34.3	10.6	-7.1
国の機関	231.1	-61.1	-34.8	-39.2
地方の機関	-73.5	47.1	115.0	78.9
受注工事総数（全国）	-1.5	-23.7	-10.9	-15.3

(5) 雇用情勢

- ・有効求人倍率は0.54倍となり、前月を0.02ポイント上回った。
- ・所定外労働時間指数は前年同月比37.9%増となり、6か月連続で上昇した。
- ・常用雇用指数は前年同月比1.4%減となり、1年2か月連続で低下した。
- ・名目賃金指数は前年同月比3.0%増となり、4か月連続で上昇した。
- ・完全失業率（全国値）は5.1%で、前月を0.1ポイント上昇した。
- ・三重県の完全失業率（モデル推計値）は1～3月期で4.4%となり、前期（4.3%）に比べて0.1ポイント上昇した。

(※前年同月比：%)	1月	2月	3月	4月
有効求人倍率（三重県、倍）	0.48	0.50	0.52	0.54
"（全国、倍）	0.46	0.47	0.49	0.48
所定外労働時間指数※	28.4	45.0	42.1	37.9
常用雇用指数※	-1.5	-0.8	-0.7	-1.4
名目賃金指数※	1.0	2.3	3.2	3.0
完全失業率（全国）	4.9	4.9	5.0	5.1
(参考)完全失業率（三重県：モデル推計値）	4.4(1～3月期)			—

(6) 企業倒産

- ・企業倒産は7件発生した。負債総額は6億8千6百万円（前年同月比64.7%減）と3か月ぶりに前年同月比減となった。

(※%：前年同月比)	1月	2月	3月	4月
企業倒産件数（件）	5	13	17	7
負債総額（%）※	-87.6	34.0	36.4	-64.7

(7) 消費者物価

- ・消費者物価指数（H17=100）は100.8で、前月比は0.2%上昇、前年同月比では1.1%下落した。

(前月比、※前年同月比：%)	1月	2月	3月	4月
消費者物価指数（4市平均）	-0.3	0.1	0.2	0.2
" ※	-1.3	-1.0	-1.2	-1.1
"（全国）	-0.2	-0.1	0.3	0.0

3. 景気動向指数 (CI 指数)

- 一致指数（景気の現状を示す指標）は 68.0 となり、前月と比較して 3.3 ポイント上昇した。一致指数からみる県内経済の基調は、改善を示している。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 8 か月連続で上回り 71.4%となった。

(※前月差：ポイント)	1月	2月	3月	4月
CI一致指数 ※	6.4	1.1	-1.5	3.3
3か月後方移動平均※	5.6	4.8	2.0	1.0
7か月後方移動平均※	3.2	2.8	2.8	2.8
DI一致指数 (%)	85.7	100.0	71.4	71.4

- 先行指数（4 月時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は 82.0 となり、前月と比較して 5.3 ポイント下落した。DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 3 か月連続で下回る 33.3%となった。

(※前月差：ポイント)	1月	2月	3月	4月
CI先行指数 ※	-9.1	-3.5	4.7	-5.3
3か月後方移動平均※	-2.7	-5.3	-2.6	-1.4
7か月後方移動平均※	0.7	-1.0	-0.1	-0.6
DI先行指数 (%)	50.0	33.3	41.7	33.3

